

施工手順書⑥-1

ヴェトロ(VETRO)

アウトセット片引き戸(上吊)

ステルス枠 施工手順書一覧

共通

※シリーズ専用以外の共通編の施工手順書は工事内容別で下記の①、②、③に分かれています。
 ※マルコシリーズの2・3枚引違い戸(上吊)、2枚引込み戸(上吊・連動)は共通編をご覧ください。
 ※本書の準耐火仕様とは、ご注文の際に当社の「準耐火仕様」を選択した場合に限ります。

①木工事

①-1.木工事・標準仕様 / ①-2.木工事・準耐火仕様

②クロス・塗り壁工事

③扉・金物の取付

③-1. 開き戸

③-2. 片引き戸(上吊)、ポケット戸(上吊)、2枚引違い戸(上吊)

③-3. 2・3枚引込み戸(上吊・連動)、3枚引違い戸(上吊・連動/非連動)

③-4. 片引き戸(床付レール)

シリーズ専用

※シリーズ専用の施工手順書(④～⑨)は木工事、クロス・塗り工事、扉・金物の取付が一式含まれます。

④クローゼット

④-1. 折れ戸 ④-2. 物入片開き戸、両開き戸、物入4枚・6枚開き戸

④-3. スライド片開き戸

⑤オートマチックドア

⑤-1. 片引き戸(上吊)

⑥ヴェトロ

⑥-1. アウトセット片引き戸(上吊) ⑥-2. 開き戸

⑦カエサル

⑦-1. スイングドア

⑧マルコ

⑧-1. 3枚引込み戸(上吊・非連動) ⑧-2. 2枚引分け戸、4枚引違い戸(上吊)

⑨フィット

⑨-1. スイングドア ⑨-2. 片引き戸(上吊) ⑨-3. 2枚違い戸(上吊)

施工を担当される方へ

安全のために必ずお守りください



● 施工前にこの手順書をよく読み、正しく施工してください

- 枠・下地枠の取付は、水平・垂直・ねじれがないかを必ずご確認し、確実な固定を行ってください。
- 本製品の組み立てで付属ビスがある場合には、必ずそのビスを使用してください。
付属ビス以外で取り付けた場合、部材の脱落や枠のゆるみ等が発生する恐れがあります。



● ケガや事故防止のため、以下の事項を必ずお守りください

- 風の強い場所では開き戸が強く閉まるなどして手をはさむ恐れがありますので
扉を開け放しにしないようご注意ください。
- 運搬作業時は滑り止めの手袋を着用し、扉建て付け時には十分気をつけて行ってください。
- ネジの緩み等、異常がないか、定期的に点検し、増し締めしてください。
(お使い始めてから1ヶ月後と6ヶ月後、その後は1年毎を目安にしてください)。



● 施工前及び施工時の確認

- 本製品は屋内用ですので、屋外や水がかりする箇所には使用しないでください。
- 本製品は内装扉を用途とする商品です。他の用途として使用したり、本手順書と異なった施工をした場合の保障は当社では責任を負いかねます。
- 高温・高湿の環境条件では使用できません。
- 施工前に部材の数量・キズの有無をご確認ください。
施工後のキズについては当社では責任を負いかねます。
- 部材を保管する場合は湿気・直射日光を避け、十分な養生をしてください。
- 開口部または枠の寸法を測り、躯体または枠が正確に施工されているか、
ご用意の扉サイズが適切かどうかご確認願います。
- 施工時に電動ドライバーを使用する場合は、カラモミを防ぐため最後の締め付けは
必ず手締めにて行ってください。
- 扉の調整の際には、電動ドライバーは絶対に使用しないでください。
ビス類が破損し、調整できなくなることがあります。
- 扉や枠の表面に、長時間テープを貼らないでください。汚れ・破損・色ムラの原因になります。
また、突き板塗装ドアの場合、塗装仕上げ面には絶対にテープを貼らないでください。

● 施工後の処理

- お施主様への引渡し前に、工事管理者が必ず点検を行い、不具合箇所を補修してください。
- 施工後はキズが付かないように養生してください。
このとき、表面にテープを直接貼らないでください。
また、突き板塗装ドアの塗装仕上げ面には絶対にテープを貼らないでください。
- 清掃の際は水を固く搾った布で汚れを落とした後、柔らかい布で乾拭きしてください。
また、汚れが落ちにくい場合は、薄めた中性洗剤で汚れを落とした後、
洗剤が残らないようによく拭き取ってください。
- 内装工事が終了するまでの間は、扉をはずして保管されることをお勧めします。

□アウトセット片引き戸(上吊) VETRO専用

forステルス枠

施工手順書2018/8作成

改訂2021/9

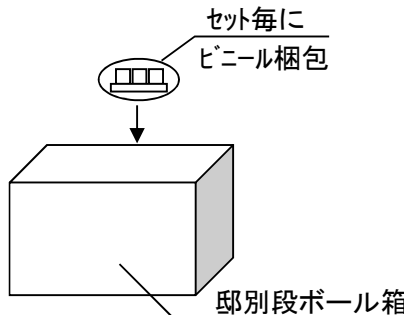
■ 製品及び同梱内容の確認

- 製品を開梱して、同梱品に間違いがないか確認をお願いします。

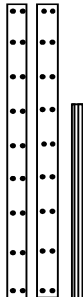


建具			同梱品				
部材	数量	備考					
引き戸	1枚						
 ※内部の不純物に起因するキズが成長することにより外力に関わらず不意に破壊する恐れがあります。							

※建具金物箱		
部材	数量	備考
金物箱		



同梱品	引き手			
				

下地枠			同梱品				
部材	数量	備考					
中方立下地	2本						
上枠下地	1本						
			同梱品				

□アウトセット片引き戸(上吊) VETRO専用

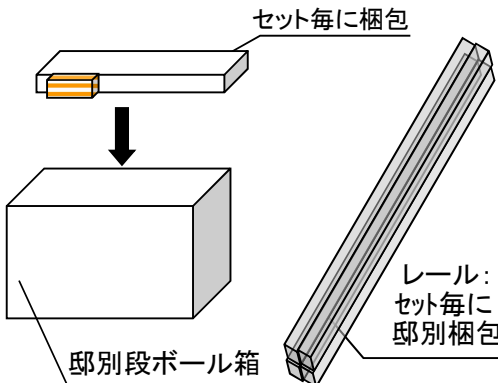
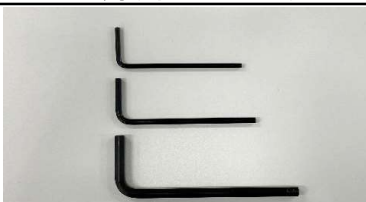
forステルス枠

施工手順書2018/8作成

改訂2021/9

■ 製品及び同梱内容の確認

- 製品を開梱して、同梱品に間違いがないか確認をお願いします。

下地金物箱			上レール・目隠しカバー		ダンパー本体	
部材	数量	備考				
金物箱	1式		1本ずつ		2ヶ	
レール	1式		トリガー・上ストッパー		ガラスブラケット	
 セット毎に梱包 レール：セット毎に邸別梱包 邸別段ボール箱			2ヶ		カバーキャップ	
			2ヶ		クリップ	
			2ヶ(ビス2本付き)		12ヶ	
			レール取付ビス		隙間シール	
			ハンガーボルト		下ガイド	
			20本		1本	
			2ヶ		1ヶ(ビス2本付)	
			トルクレンチセット			
					1セット	
その他必要工具			トルクレンチセット内訳			
・ 電動ドライバー (φ3キリ・プラス) ・ プラスドライバー (1番・2番) ・ マイナスドライバー			トルクレンチ本体		トルクレンチソケット4mm	
						
			六角(呼び2・2.5・4)		ヘキサロビュラLレンチT25	
						

□アウトセット片引き戸(上吊) VETRO専用

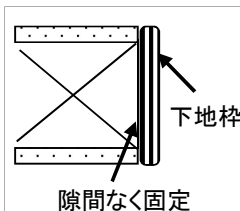
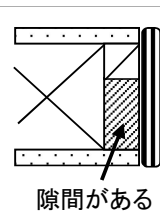
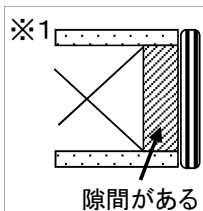
forステルス枠

施工手順書2018/8作成

改訂2021/9

1 施工前の確認事項

- ① 下地枠を取り付ける前に、開口部の巾（図面：ROW寸法）と高さ（図面：床仕上～開口高さ）の確認をしてください。
（中方立下地は床仕上げ面からの立ち上がりとなっているので注意してください）

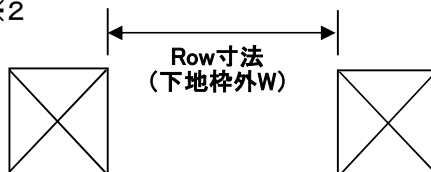


×

×

○

※2



図面上のRow寸法（下地枠外W）の確認

注意

※1：下地枠は躯体（構造材）と面接合するように取り付けますので、下地枠の裏側部分には必ず木を全面に入れておいてください。
※2：施工前のW寸法確認は、図面上のRow寸法（下地枠外W）を確認してください。
※開口部（柱・まぐさ等）の水平・垂直・前後の倒れ・ねじれ等がないか、水平器等で精度を十分に確認してください。

施工動画で
チェック!!



2 中方立下地の取り付け

- ① 中方立下地を接着剤・取り付けビス(現場手配品)併用にて躯体に固定します。(壁厚の真ん中に取り付けてください)



ビスは下地表より飛び出さないように固定、及び調整を行ってください。

注意

※中方立下地材裏面には、必ず接着剤(現場手配品)を全面に塗布してください。(許ビスをお奨めします)
※中方立下地材の取り付けにはしっかりと固定できるビス(現場手配品)を使用し、必ず下穴の開いている位置でビス止めしてください。
※中方立下地材取り付け後にクロスで仕上げますので、ビスの頭が飛び出さないようにしてください。

施工動画で
チェック!!



□アウトセット片引き戸(上吊) VETRO専用

forステルス枠

施工手順書2018/8作成

改訂2021/9

3 上枠下地の取り付け

- ① 上枠下地を接着剤・取り付けビス(現場手配品)併用にてまぐさに固定します。その際に戸先側を中方立下地の表面から39mm壁にかぶるように取り付けを行ってください。
上枠下地の裏には上枠が垂れ下らないような厚みの木材を入れてください。



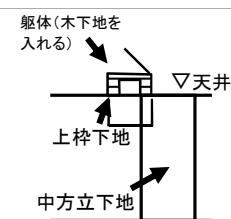
下地裏面に接着剤全面塗布



下地表よりビス固定

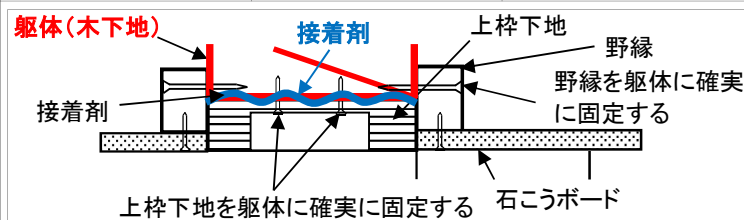


上枠下地取り付け位置
(中方立下地から39mm)



上枠下地の裏には上枠下地が垂れ下らないような厚みの木下地を入れる

- ② 上枠下地と石膏ボードを連続して納める場合、野縁を躯体にしっかりと固定します。その際、石膏ボードの厚さを確保してください。その後、石膏ボードを上枠下地に合わせて野縁に固定してください。



石膏ボードの厚さを確保して、野縁を躯体に固定
その後、野縁に石膏ボードを取付ける

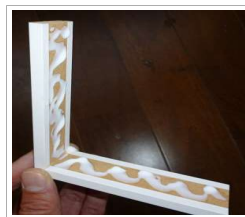
注意

※上枠下地を固定する躯体は扉重量(最大100kg)で垂れ下がらないようにしてください。万一垂れ下ると、ガラスと床とのクリアランスが小さくなり、下ガイドとガラスが干渉し破損する恐れがあります。
※下地枠裏面には、必ず接着剤(現場手配品)を全面に塗布してください。(酢ビ系をお奨めします)
※下地枠の取り付けにはしっかりと固定できるビス(現場手配品)を使用し、必ず下穴の開いている位置でビス止めしてください。
※下地枠取り付け後にクロスで仕上げますので、ビスの頭が飛び出さないようにしてください。またその際、レールビスと干渉しない位置でビス止めを行ってください。
※上枠下地の裏側には、必ず上枠下地が垂れ下らないような厚みの木材を入れてください。
※野縁は躯体にしっかりと固定してください。上枠下地が固定されている躯体に野縁が固定されていないと、クロスの割れ、よれ、塗り壁の割れの原因となります。



4 巾木・クロス施工

- ① 巾木を接着剤にて取り付けてください。(酢ビ系接着剤をお奨めします)



接着剤全面塗布



巾木取り付け

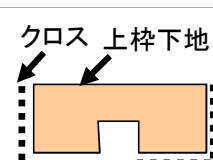
- ② パテ等の下地処理をした後でクロスを貼ってください。(メッシュ→下塗り→上塗りをお奨めします)



メッシュテープ貼り



パテ処理



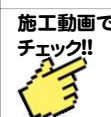
クロスの貼り方
×



クロスの貼り方
○

注意

※上枠下地のレール溝部分は、クロスを貼り伸ばしレール溝に巻き返してください。



□アウトセット片引き戸(上吊) VETRO専用

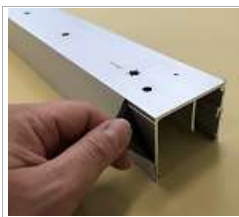
forステルス枠

施工手順書2018/8作成

改訂2021/9

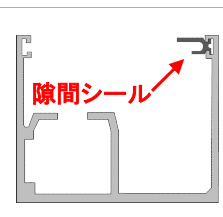
5-1 引戸レールの取り付け

- ① 引戸レールの長手両側面にある養生フィルムをはがしてください。



養生フィルムをはがしてください
(両側面)

- ② 隙間シールを引戸レール内にある溝に差し込んでください。



隙間シール断面
(長短側有り)

隙間シールはレール内側にビス穴加工がある側の溝へ、隙間シール断面の長い面が外側になるように差し込み、レールと同じ長さで切断してください。

注意

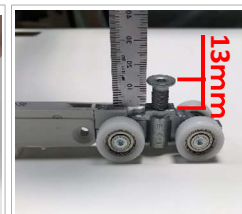
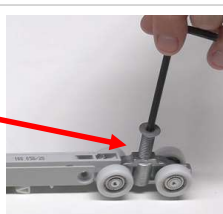
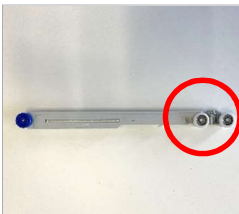
※隙間シールはレール内側にビス穴加工がある側の溝へ、隙間シール断面の長い面が外側になるように注意して差し込んでください。
※隙間シールは別途、目隠しカバー取付の際にも使用しますので捨てないでください。

施工動画で
チェック!!



5-2 引戸レールの取り付け

- ① 上ローラーにハンガーボルトを端部から13mm出した位置で取付けてください。



上部ストッパーに同梱のヘキサロビュラLレンチT25でハンガーボルトを取付ける

ハンガーボルトを
上部ローラーから
13mmに調整

- ② ダンパー本体（ローラー付き）とトリガーを取付けた上ストッパーをレール内部に入れてください。



各パーツを上記写真の向き・順序でレールの丸囲い部側に入れる

左右の上ストッパーをプラスドライバーで仮止めする

注意

※ハンガーボルトはヘキサロビュラドライバー* T25を使用して、必ず手動にて締め付けてください。

施工動画で
チェック!!



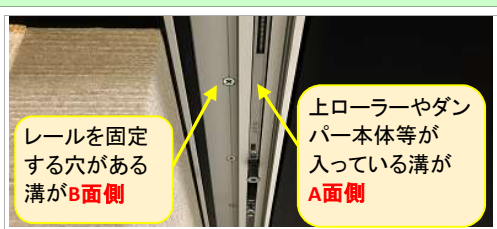
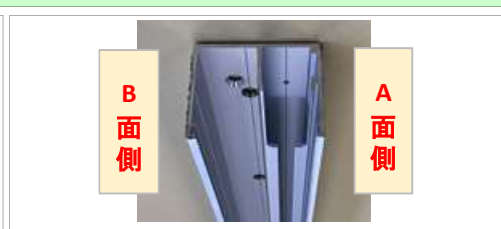
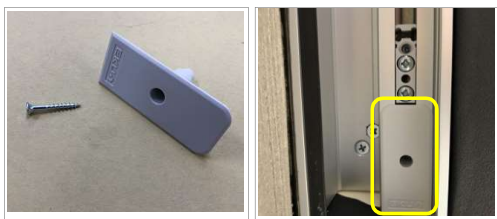
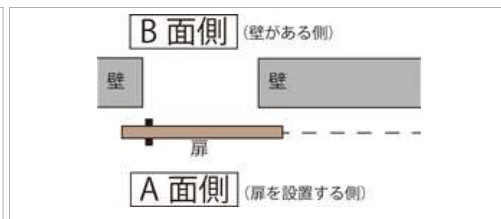
□アウトセット片引き戸(上吊) VETRO専用

forステルス枠

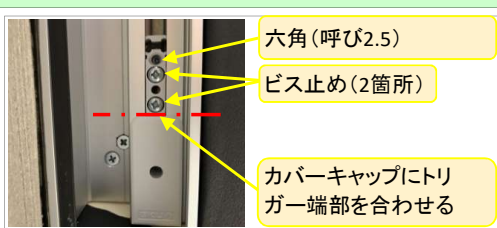
施工手順書2018/8作成

改訂2021/9

5-3 引戸レールの取り付け

① 上枠下地にレールを木ねじ（4.8×63）で取付けてください。	 レールを固定する穴がある溝がB面側 上ローラーやダンパー本体等が入っている溝がA面側	 B面側 A面側
② レール両端にカバーキャップをはめこみ、十字穴付バインド小ねじ（M2.5×8）で取付けてください。		 B面側 (壁がある側) A面側 (扉を設置する側)
注意	カバーキャップ及び十字穴付バインド小ねじ（M2.5×8） レール両端にカバーキャップを取付ける	施工動画でチェック!! 

6 ストッパーとトリガーの固定

① レール両端にあるストッパー及びトリガーをそれぞれ端に寄せ、プラスドライバーと六角（呼び2.5）で固定してください。	 六角（呼び2.5） ビス止め（2箇所） カバーキャップにトリガー端部を合わせる	
	仮止めしていた上ストッパーをレールにしっかりと押し付けて、ビス2箇所と六角（呼び2.5）1箇所を締めてトリガーを固定する	
注意	※ストッパーがレールと水平に固定されないと、トリガーがレール天井部に押し上げられない場合がありますので、締め忘れに注意してください。 ※六角ねじを強く締めすぎるとストッパーが破損しますので、締めトルクは、仮締めが1.5N・m、本締めが2N・mで固定してください。 ※ビス止め2箇所のビス頭がはみ出ないように注意してください。	施工動画でチェック!! 

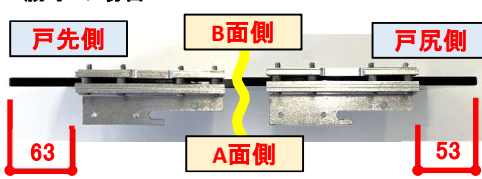
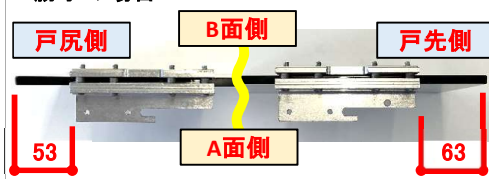
□アウトセット片引き戸(上吊) VETRO専用

forステルス枠

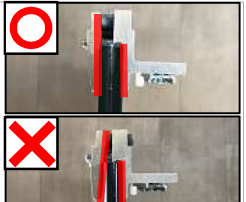
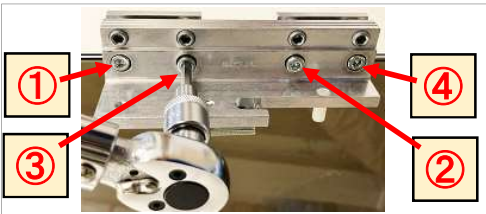
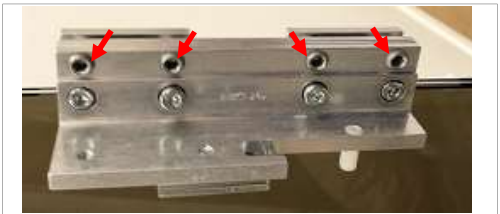
施工手順書2018/8作成

改訂2021/9

7-1 建具の吊り込み

① 【ガラスの清掃と金物の清掃】 ガラスのガラスブラケットが当たる部分を拭いて、綺麗にしてください。 ガラスブラケットのガラスを入れる溝部分を拭いてください。			 チャンネル
	ガラスの清掃をする	ガラスブラケットの清掃をする	チャンネルをヘキサロピュラレンチT25で取り外す
② ガラスブラケットの取り付け向きと位置を確認する。	L勝手の場合  R勝手の場合  ブラケットの取り付け向きと位置を確認する		
注意 ※ガラス面やガラスブラケットの溝部分に異物がある状態でガラスブラケットを締め付けるとガラスが破損する場合がありますので、必ず清掃をしてください。	施工動画でチェック!!  		

7-2 建具の吊り込み

① ねじをいったん大きく緩め、ブラケットをガラスに均一に圧着するように押さえ、上側のねじを同梱の六角（呼び4）で回し、突き当たったところで止める。 この時、戸先側は63mm、戸尻側は53mmで位置決める。	 上側のねじ4箇所（赤矢印部）の締付は突き当たったところで止める	
② トルクレンチ（呼び4）を使って、先ず下側のねじ4本を①～④の順に締め、次に上側のねじを締める。	 同梱のトルクレンチに4mmのソケットを取付け、下側のねじを①～④の順に7～8Nmで締める	 同梱のトルクレンチに4mmソケットを取付け、上側のねじを7～8Nmで締める
※ガラスブラケットは、端部から戸先側は63mm、戸尻側は53mmに取付けてください。 ※下側のねじを本締めする時は、4本のねじを必ず①～④の順にトルクレンチ（呼び4）を使用して、7～8Nmで締めてください。 ※下側のねじを本締めした後に上側のねじをトルクレンチ（呼び4）で7～8Nmで締めてください。 施工動画でチェック!! 		

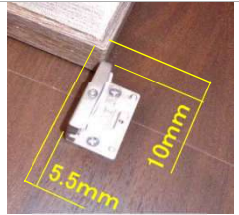
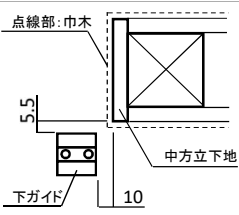
□アウトセット片引き戸(上吊) VETRO専用

forステルス枠

施工手順書2018/8作成

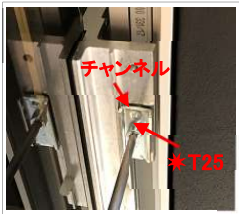
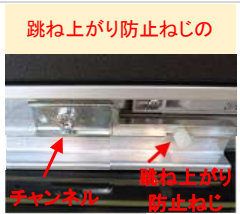
改訂2021/9

7-3 建具の吊り込み

① 下ガイドの取付け 下ガイドの部品を一度取り外し、所定の位置に取付けてください。	 六角(呼び2)  5.5mm 10mm 	
② 上レール内にある上ローラー（ダンパー本体）を内側によけてガラス扉を差し込み、ハンガーボルトをガラスブラケットに差し込む。 その後、一度外した下ガイドの部品を元に戻して固定する。	  ハンガーボルト 	
	同梱の六角(呼び2)で下ガイドの部品を外す 下ガイドは壁面より5.5mm、開口内に10mmの位置に取付けます 上ローラーをよけてガラス扉をレール内に差し込む ハンガーボルトをガラスブラケットに差し込む 一度外した下ガイドの部品を元に戻して固定する	施工動画でチェック!! 

注意

8 扉高さで跳ね上がり防止ねじの調整

① チャンネルを外し、跳ね上がり防止ねじを緩めてからハンガーボルトを締めて、扉と床の隙間を10mmにする。 次に、チャンネルをスライドしてハンガーボルトの頭を隠す。 最後に跳ね上がり防止ねじを締める。	  *T25	 跳ね上がり防止ねじのチャンネル
② ガラスと下ガイドの隙間をプラスドライバーで調整する。	  調整ねじ プラスドライバー	右回し：内側方向 左回し：外側方向
	ガラスと下ガイドの隙間を調整する	施工動画でチェック!! 

注意

※必ず跳ね上がり防止ねじを緩めてからハンガーボルトを締めてください。
※最後に跳ね上がり防止ねじを締める時は、ねじが当たるまで回した後、半回転緩めてください。

□アウトセット片引き戸(上吊) VETRO専用

forステルス枠

施工手順書2018/8作成

改訂2021/9

9 上ストッパーの調整

- ① キャッチ調整ねじを十分緩めてから固定ねじを緩め、ストッパー位置を調整した後にねじを締める。
最後にキャッチ調整ねじでキャッチ力を調整する。

キャッチ調整ねじ



固定ねじ

- ①キャッチ調整ねじを十分緩める ②固定ねじを緩める ③ストッパー位置を調整した後に固定ねじを締める ④キャッチ調整ねじでキャッチ力を調整する

注意

※上ストッパーの調整をする時はキャッチ調整ねじを十分に緩めてから行ってください。

施工動画で
チェック!!



10 目隠しカバーの取付け

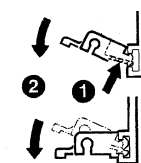
- ① 上レールにクリップを約200mm間隔で取付ける。



約200mm間隔でクリップを取付ける



クリップの取付け方

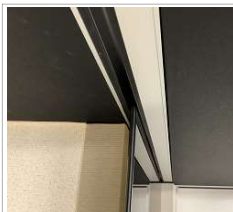


- ② 目隠しカバーに隙間シールを取付けてから上レールのクリップに取付ける。



目隠しカバー
隙間シール

目隠しカバーに
隙間シールを取付ける



目隠しカバーを
クリップに取付ける

注意

施工動画で
チェック!!

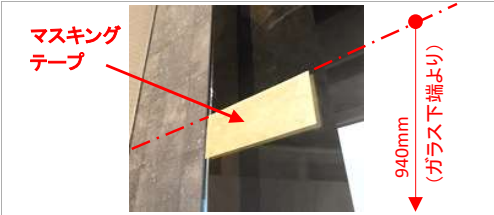
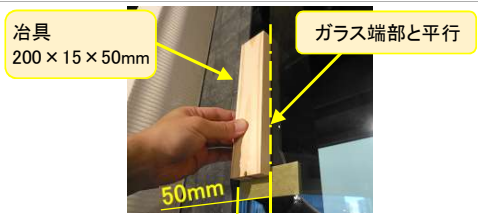
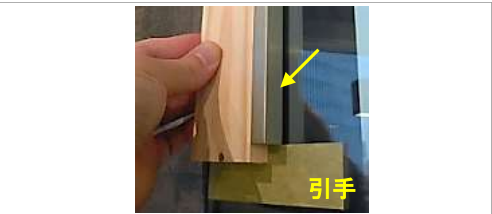
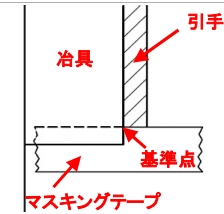


□アウトセット片引き戸(上吊) VETRO専用

forステルス枠

施工手順書2018/8作成

改訂2021/9

11 引き手の取付け				
①	引手取付部分をガラスクリーナーで拭いてから、引手取付の位置出しを行う。 高さ方向はマスキングテープを貼り、水平方向は当て木等の治具（現場手配品）を合わせて位置出しを行う。	 マスキングテープ 940mm (ガラス下端より)		 治具 200 × 15 × 50mm ガラス端部と平行 50mm
		ガラス下端から940mmの位置に合わせて、水平にマスキングテープを貼る		当て木等の治具（現場手配品）を、ガラス端部から50mmの位置に平行になるように合わせる
②	引手の両面テープ部の剥離紙を剥がし、引手を治具側面と、マスキングテープ上端に合わせて貼り付ける。 また、裏面も同様に引手を貼り付ける。	 剥離紙	 引手	 引手 治具 基準点 マスキングテープ
		両面テープの剥離紙を剥がす	引手を治具側面と、マスキングテープ上端に合わせて貼り付ける	位置関係
注意	※両面テープを一度貼り付けると外せなくなる為、位置を間違わないように、またズレないように十分に注意して取り付けて下さい。 ※ガラスクリーナーでガラスを拭いてから引手を取付けてください。引手が外れる恐れがあります。			施工動画でチェック!! 

□塗り壁仕様施工方法

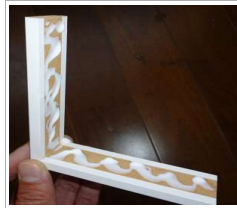
forステルス枠

施工手順書2013/6更新

改訂2018/9

1-1 共通事項

- ① 枠の取り付け・調整、クサビまたはパッキンの固定が終わったら、巾木を接着剤にて縦枠下地の欠込み部分にはめ込むように取り付けてください。(接着剤は酢ビ系をおすすめします)



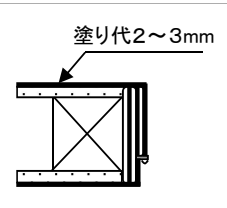
接着剤全面塗布



下地の巾木欠き込み部分
(4×30)



下地の欠き込み部分には
はめ込む様に取り付け



塗り代 2 ~ 3 mm

注意

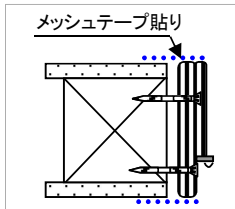
※出荷時には巾木の欠き込みはクロス仕様よりも3mm浅く（4mm）欠き込んであります。（巾木の厚み7mm以上の対応は行っておりません）
 ※塗りの厚みは2～3mmの設定になっているため、受金物もクロス仕様より2～3mm出っ張るよう加工されています。
 ※天井はクロス貼り、下がり壁は塗り仕上げの仕様となります。（下り壁仕上げ面の塗りの厚みは1.5mm以内となります）

1-2 共通事項

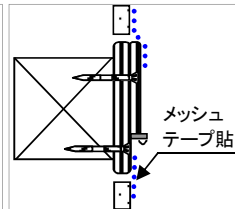
- ① 受金物の取り付けが終了したら、受金物・樹脂見切り・金物台座・巾木・見切縁等に隙間がないように養生を確実にし、石膏ボードと枠をまたぐようにメッシュテープを貼ってください。



受金物等に養生

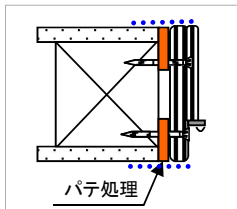


メッシュテープ貼り
(石膏ボードと枠をまたぐように貼る)

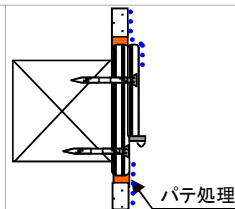


メッシュ
テープ貼り

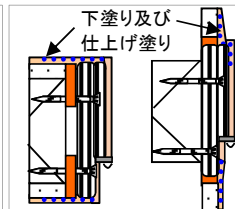
- ② メッシュテープを貼った後、パテ処理（2度塗りを推奨）をしてください。パテが乾燥後、下塗り材（アク止め入り）をムラなく塗り、1～2日乾燥させてください（漆喰の場合は2度塗り）。その後、仕上げ材をムラなく塗り、3～4日乾燥させてください。
- この時、ビス部分にもパテ処理を行ってください。



パテ処理



パテ処理



下塗り及び
仕上げ塗り

下塗り及び
仕上げ塗り

注意

※ウォールスルーはガラスの押え縁を見切りに塗ってください。
※受金物・樹脂見切り・金物台座・巾木・見切り縁等は出の寸法が異なりますので、はみ出さないよう注意して塗ってください。
※塗喰の場合、アク止めは1回塗った後に十分乾燥させ、さらにもう1回塗って、1～2日乾燥させた後に上塗りを行ってください。



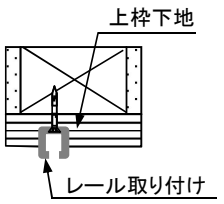
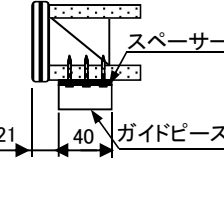
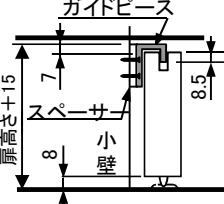
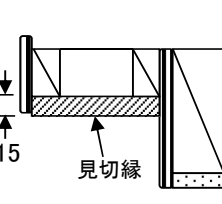
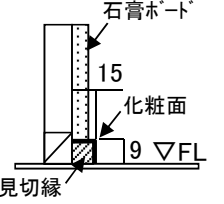
□ 塗り壁仕様施工方法

forステルス枠

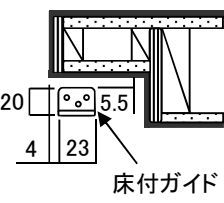
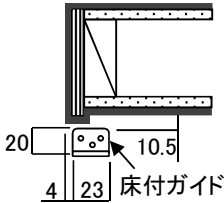
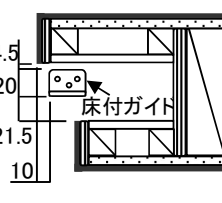
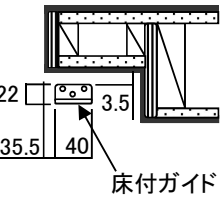
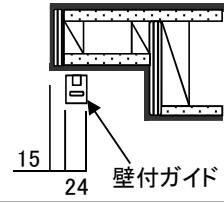
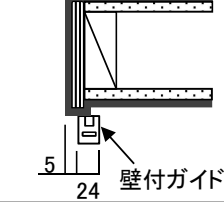
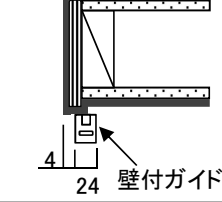
施工手順書2013/6更新

改訂2018/9

2-1 塗り壁施工前手順

① レールの取り付け 下り壁仕様の場合、引き戸レール・折戸レールは塗り壁施工前に取り付けてください。				
② ガイドピースの取り付け 床付レール仕様の場合、ガイドピースを塗り壁施工前に裏側のスペーサーと共に取り付けてください。（取り付け位置はクロス仕様と同じ位置です） 見切縁の取り付け 引込み戸の戸袋側の小壁に沿わせて見切縁を取り付けます。				
※フリー折戸の下レール、及び床付レールの取り付け位置はクロス仕様と同じ位置になります。 ※塗りは下り壁の場合のみの設定です。天井納まりの場合はクロス貼り仕様のため、クロス貼りにレールを取り付けてください。 ※見切縁はボードより2.5mmチリが出ますので、見切縁よりもはみ出さないように塗り壁施工を行ってください。	ガイドピースの取り付け		見切縁の取り付け	

2-2 塗り壁施工前手順

① 床付ガイドの取付け 塗りの厚みが3mmの場合、塗り仕上げ面からそれぞれ所定の位置にガイドを取付けてください。				
② 壁付ガイドの取付け 塗りの厚みが3mmの場合、塗り仕上げ面からそれぞれ所定の位置にガイドを取付けてください。				
※塗りの厚みが3mmの場合の塗り仕上げ面からの位置になります。 ※壁付ガイドは隙間にかい木（現場調達）を入れて取り付けてください（27ページの7-1参照）。	片引き戸（上吊） 床付ガイド位置	アウトセット 床付ガイド位置	引込みポケット戸 床付ガイド位置	2枚・3枚引込み戸 床付ガイド位置